

2026年1月17日（土）に大阪市淀川区民センターで開催された、社会福祉法人大阪市淀川区社会福祉協議会主催の「よどがわ防災フェスタ」に参加しました。

普段から活動で使用しているジオラマ模型を用いた水害再現を行い、大雨や津波などの水害によって街にどのような被害が発生するのかを目で見て体験いただきました。また、フリップを用いて、国・自治体・企業・住民などのあらゆる関係者が協力して行う「流域治水」の考え方などを説明しました。

当イベントでは私たち以外にも防災に関する様々な催しやワークショップなどが行われていました。そんな中、弊社のブースには、お子様から大人の方まで約80名の方にお越しいただきました。

大阪を流れる大規模河川「淀川」と「神崎川」に挟まれた地域とあってか、来場者の皆様の防災意識は特に高く、多くの方が私たちの説明に興味深く耳を傾けてくださいました。熱心に話を聞いていただき、誠にありがとうございました！

人々の防災意識を向上させ、万が一災害が発生してしまった時に一人でも多くの命を救うことができるよう、引き続き活動を継続して参ります。



幅広い年齢の方が模型で水害を擬似体験



淀川区社会福祉協議会のキャラ「よっしゃー」のパネルと撮影



主催者作成のチラシ